

# COP15 ロールプレイ-ルールブック-

表 1 パラメータ表

| 国名<br>①   | co2 排出量<br>② | 環境変動対策<br>予算(G)<br>③ | 削減コスト(G)<br>④ |
|-----------|--------------|----------------------|---------------|
| ハンバーガー合衆国 | 23           | 1100                 | 100           |
| レゴランド     | 14           | 1500                 | 100           |
| ドラゴンカントリー | 24           | 700                  | 200           |
| ポンド国      | 15           | 600                  | 200           |
| キリザンランド   | 13           | 300                  | 300           |
| コンペイトウ諸島  | 11           | 300                  | 300           |
| 世界合計      | 100          | 4500                 |               |

議論はパラメータ表を中心に行っていきます。

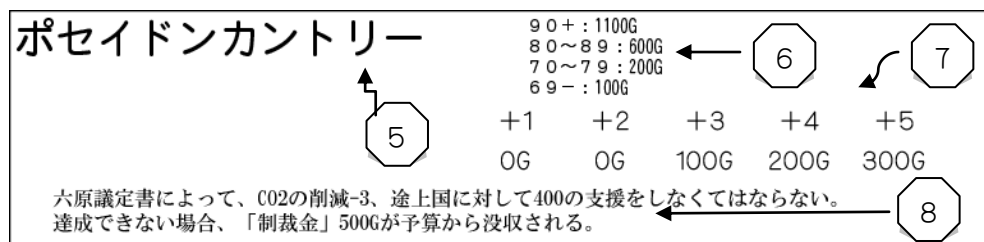


図 1 各国のシート

各国のシートは他の国には非公開で配られます。その国に固有のルールや数値が書かれています

## ゲーム概要

プレイヤーは表 1 の ① の各国に分かれてゲームを進めます。まず条件を考慮しながら予算を賢く使って co2 排出量を上下させます。次に世界の co2 排出量に応じたダメージ ⑥ を受けます。最後の段階で予算が赤字とならないことが勝利条件です。

## それぞれのパラメータと予算の使い方

- ・ co2 排出量を減らす

各国は予算 ③ を使って、co2 排出量を削減することができます。co2 排出量を 1 減らすとき、削減コスト ④ に書かれている数字の分だけ、予算を使います。削減コストは国によって異なる値を取るため、国によって排出量の削減のしやすさが異なることになります。

【重要】削減コスト ④ が、200 以上の各国は、予算 100 を使うことで、削減コストを 100 下げることができます。これを技術革新と呼びます。技術革新は複数回行うことができますが、削減コストの最小値は 100 です。

- ・ co2 排出量を増やす

各国は、co2 排出量を増やすこともできます。co2 排出量を増やすと「その分経済発展をした」と考えます。経済発展の結果、自国の予算が追加されます。追加される予算の金額は ⑦ の表の通りです。例えば図 1 のポセイドンカントリーの場合、co2 排出量を +3 すれば 100G の予算が追加されることになります。

- ・ 他国を援助する

表 1 の ③ を見ると分かるように、国によって予算は大きく異なります。ハンバーガー合衆国とレゴランドの 2 つの先進国は大きな予算を有している一方で、その他の途上国は今のみではダメージに対応することができません。途上国は、交渉をして、資金を援助してもらうことができます。

⑧ は国ごとの条件です。後ろの各国紹介も参照しながら、なりきりましょう。

## ゲームの流れ

- ① 各国が自己紹介をして、自分がどこの国なのか **5** を他の 5 人に明らかにします。
- ② 6 人の中でレゴランドが議長になります。
- ③ 議長は、
  - (ア) 世界全体の排出量をどのレベルにまで減らすのか
  - (イ) 各国に削減をどう割り当てるのか。
  - (ウ) 途上国に対する支援をどうするのかを盛り込んだ議長提案を会議に提出します。
- ④ レゴランド以外の各国は議長提案に対するコメントをして、自国の立場、目標を他国に伝えます。
- ⑤ レゴランドが司会をしながら、各国が自由に議論をし、co2 の削減量や資金援助について調整を行います。
- ⑥ 20 分で議論は終了です。
- ⑦ 各国が順番に自国の削減量（増加量）を宣言して確定させます。
- ⑧ co2 排出量を増加させた国は予算が追加されます。 **7**
- ⑨ 排出量のレベルに応じて、世界を気候変動被害が襲います。 **6** 各国はそれぞれの被害額を予算から引き算します。
- ⑩ 予算の残額を計算して他の国に報告します。予算が 0G 以上残っていれば、勝利です。
- ⑪ ゲームを終了します。
- ⑫ 最後に今回のゲームについて、最終結果とその考察をレゴランドがまとめます。

**世界観**：正歴 2010 年 12 月、レゴランドで COP15（国連気候変動枠組条約第 15 回締約国会議）が開催されていた。COP15 では、現実の危機となりつつある気候変動への対策としての各国の取り組みが議論される。具体的には、

- ・ 1997 年に、COP3 で採択された六原議定書で約束された先進諸国の排出量削減の一層の強化

- ・ 工業化が進行中の発展途上国を削減/緩和の取り組みに盛り込むかどうか
- ・ 後進諸国への支援の体制

が議題となる。

各国の交渉団の一員となる君は、様々な思惑の渦巻く国際会議を生き残ることができるか！

## キャラクター

**ハンバーガー合衆国**：我が国はかつての CO2 最大排出国であった。現在はドラゴンカントリーに次ぐ 2 位である。経済界、議会の反対があり六原議定書を含む、国際的な枠組みに参加して排出削減を約束することはできない。しかし、しかたがないから我が国は我が国が決めた削減計画を実行することはしてやろう。

**レゴランド**：我が国は、今回の歴史的な会議の開催国となったことを大変名誉に思っている。我が国の名誉にかけても、意味のある結論を得たいものだ。そのためには六原議定書を発展的に改正して、先進国の一層の努力はもちろん、途上国の緩和/削減も組み込まれる合意を取り付けたいものだ。我が国が所属している EU 各国も同じ意見を持っている。

**ドラゴンカントリー**：そもそも今日の問題の原因は、先進諸国にある。責任を我々途上国に擦り付けないでいただきたい。六原議定書が、世界の取り組みの唯一の道である。我が国が、国民の生活を豊かにしていくためには、まだまだ工業の発達が必要だ。今後も排出量が増えるであろうが、これはやむを得ないことである。しかし、コンペイトウ諸島など他の途上国の状況には大変同情する。ハ合衆国、

レゴランド、ポセイドンなどが本当に本当に努力するなら、ちょっとは排出量増やすの遠慮してあげてもいいんだけどね///

**コンペイトウ諸島**：いや、マジ勘弁してください。私たちの国無くなっちゃいます(>\_<)

現在の先進諸国の目標だと、科学的な予測と照らし合わせて、我が国が深刻な被害を受けること間違いなしです。先進諸国には一層ハードな約束をお願いしたいです。後、同じ途上国とはいえ、正直、今世界で一番 CO2 排出しているドラゴンカントリーは自重するべきだと思う。でも言いづらいな…僕たちを庇ってくれている感じだし。

### キリザンランド

アフリカ南部の我が国は、戦後にティータム帝国から独立した国々の一つだ。世界的な銅の鉱山を有してはいるが、施設は老朽化し、経済は極めて振るわない。世界の最貧国のひとつ、後発発展途上国である。温暖化の影響で、我が国は既に感染症の蔓延などの被害を受けている。歴史の中で地球の資源を浪費してきた先進諸国は、我が国など弱い被害国に対し、真摯な対応をとってほしいと思う。また鉱山の効率化など経済発展の援助をしてほしい。これは CO2 排出量の抑制と我が国の経済双方に効果があると考えている。

### ボンド国

我が国はドラゴンカントリーに「追い付き追い越せ」なアジアの巨人です。我が国としてもドラゴンカントリーの意見には大いに賛成で、とにかく先進国は、排出の歴史に責任を取らなくてはならないと思います。我が国は今後も今の割合かそれ以上で経済発展を続けていくつもりですし、先進国にはそれをとやかく言う権利はないはずです。経済発展のためには一層の CO2 排出か、クリーンな技術で持って発展を進めるだけの資金が必要です。僕たちは発展に向かって突き進みますよ～！